

予算配分に反映するための評価等に関する検討課題

○機能強化の方向性に応じた評価や、それを踏まえた予算配分への反映の在り方について

【機能強化の方向性に応じた重点支援に関する評価】

- ・機能強化の方向性に応じた重点支援の評価については、予算配分へ反映させることを念頭に置くと、予算編成のスケジュールの中で、どのような手順で行うことが適当か。
- ・専門分野に応じた評価をどのように行うか。

○評価指標を国で設定するのか、大学で設定するのか、又は選択制か、あるいは、これらの組合せについて

【機能強化の方向性に応じた重点支援に関する評価】

- ・機能強化に関する各大学の取組構想とその進捗状況を確認することとあわせて、予算上の三つの重点支援の枠組みに応じ、それぞれどのような指標を設定することが適当か。
- ・政策的に重点支援を行うという枠組みの性格を考慮すると、指標を設定する場合には、国が設定することが適当か。また、取組構想の内容により、大学が設定する場合も考えられるか。
- ・指標を国が設定する場合、大学が設定する場合、それぞれどのようなものが考えられるか。

【学長の裁量による経費に関する評価】

- ・各大学の学長のビジョンに基づく学内資源再配分の取組内容とその進捗状況を確認することとあわせて、どのような指標を設定することが適当か。
- ・学長の裁量による経費という性格を考慮すると、指標を設定する場合には、大学が設定することが適当か。国が設定する場合も考えられるか。
- ・指標を大学が設定する場合、国が設定する場合、それぞれどのような指標が考えられるか。

- ・各大学の果たすべき役割が多様であることを踏まえると、教育・研究・社会貢献など、どの部分に重点的に取り組むかについて、各大学がウエイト付けを行うことが考えられるか。

【これまでの主な御意見】

- * マネジメントは短期に評価できるが、研究の評価は時間がかかる。評価は、学長のガバナンス、マネジメント等の運営評価を軸にすべきではないか。
- * 教育・研究・社会貢献以外に、管理運営を入れるべきではないか。
- * 細かい評価指標よりも、定量的なエビデンスに基づいたマネジメントができているかといった評価指標が重要ではないか。
- * (独) 大学評価・学位授与機構が構築した大学ポートレートの登録データから指標が抽出できるのではないか。
- * 全てがクリアなエビデンスで表せるものばかりではないことから、明確な数値で表せないものについての取扱いが課題ではないか。
- * 全国的あるいは、国際的な視点で、共同して研究を進めるという考え方を評価することが必要ではないか。
- * 地域活性化や地域貢献を考える際には、様々なステークホルダーのニーズを考えてほしい。
- * 地方にある大学だからといって、一律に地元就職率などを指標として設定することは、問題がある場合もあるので、配慮が必要ではないか。
- * 評価軸を複数示し、評価軸ごとに目標設定を行い、各大学が評価軸を組み合わせ設定すべきではないか。
- * 地域の状況に合わせた指標を大学が独自に設定できることが重要ではないか。

○評価期間をどのように考えるか（中期目標期間との関係など）

【機能強化の方向性に応じた重点支援に関する評価】

- ・政策的に重点支援を行うという枠組みの性格を考慮すると、毎年度進捗状況を確認することが適当か。

【学長の裁量による経費に関する評価】

- ・学長の裁量による経費という性格を考慮すると、中期目標期間全体の取組状況を確認することが適当か。また、評価を予算に反映させる関係から、一定期間ごと（2～3年）に、進捗状況を確認することも必要か。

【これまでの主な御意見】

- * 評価手法と評価指標を分けて考える必要がある。評価手法については、評価サイクル等も含め、フレキシブルに対応できるようにした方が良いのではないかと。
- * 機能強化の方向性に応じた重点支援について、大学の評価マインドの向上の観点から、大学が毎年、部局も含めた機構強化構想を自己評価し、国は2～3年ごとに評価した方が良いのではないかと。

○評価を行う体制をどうするか（有識者会議の設置、既存の評価の仕組みとの関係など）

- ・ 透明性を確保しつつ、きめ細かな評価を行うための評価体制は、どのようなものが考えられるか。
- ・ 評価指標の設定や評価等に当たっては、大学の業務負担等も考慮する必要があるのではないかと。

【これまでの主な御意見】

- * 計画に対する評価より、実績に対する評価をしっかりと行い、実績に対してインセンティブが働くようにしてほしい。